

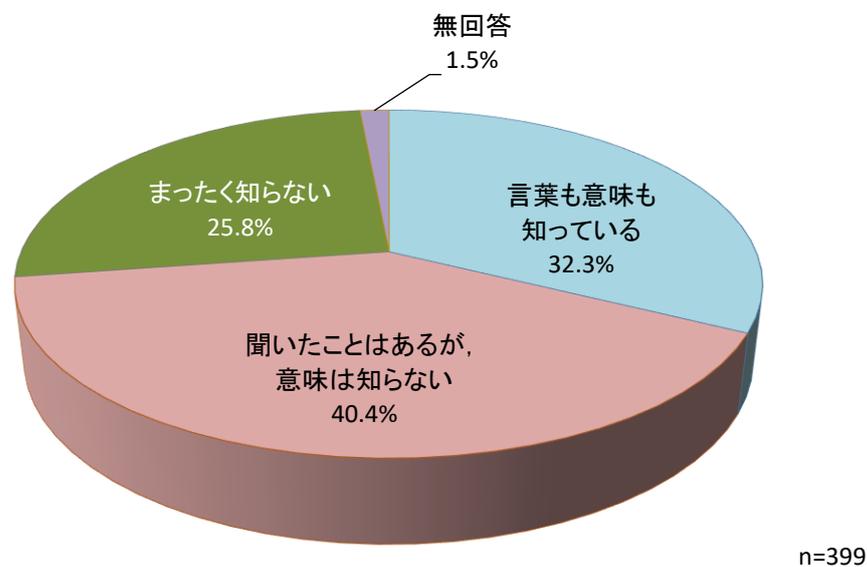
5. 生物多様性について

(1) 「生物多様性」の認知度

◇ 「聞いたことはあるが、意味は知らない」が約4割

問13	生物多様性という言葉や意味を知っていますか。	(○は1つ)
		n=399
1	言葉も意味も知っている	32.3%
2	聞いたことはあるが、意味は知らない	40.4%
3	まったく知らない	25.8%
	(無回答)	1.5%

<図IV-5-1>全体



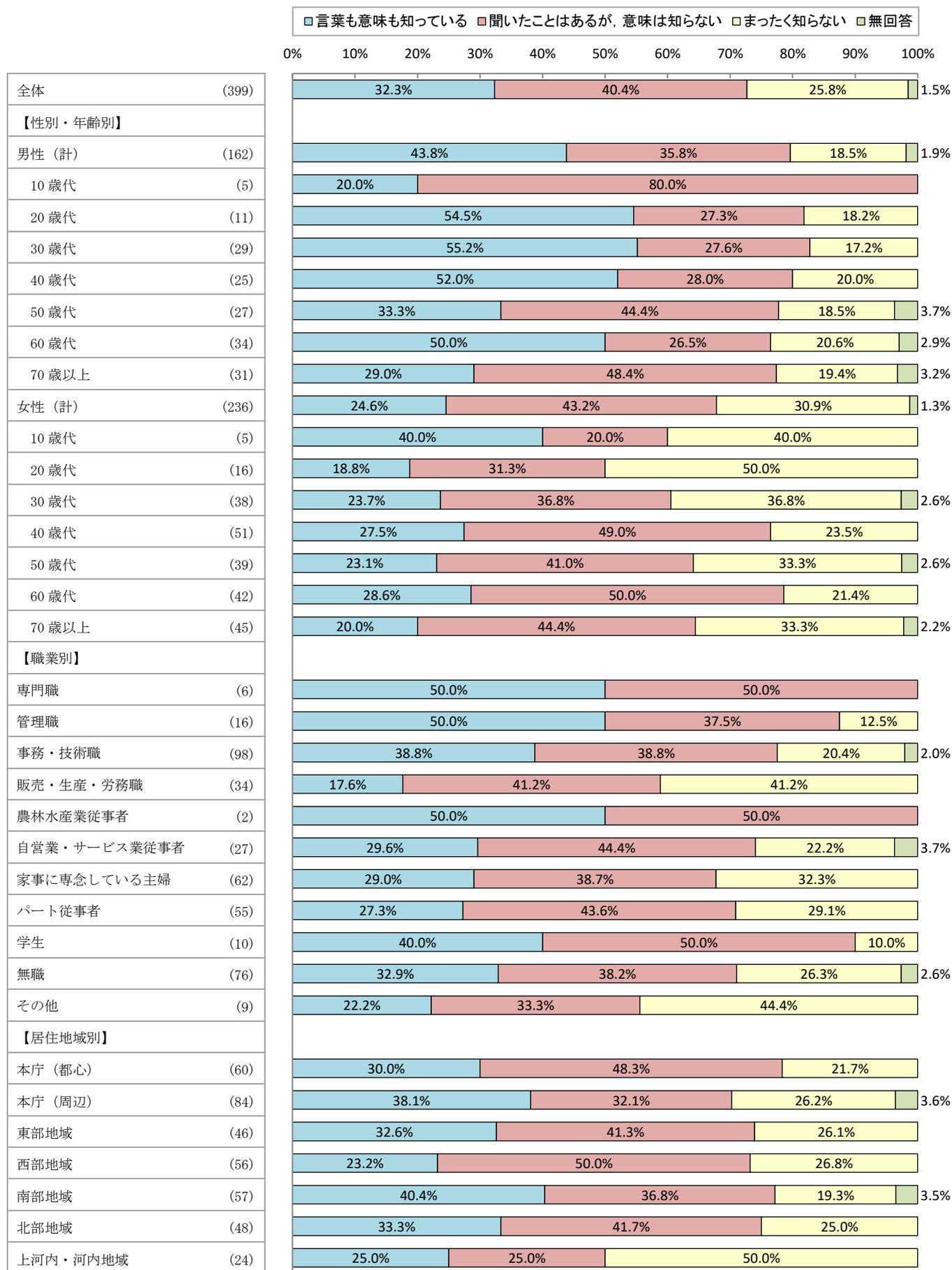
「生物多様性」の認知度については、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が40.4%で最も高く、次いで「言葉も意味も知っている」が32.3%、「まったく知らない」が25.8%と続いている。(図IV-5-1)

性別・年齢別でみると、「聞いたことはあるが、意味は知らない」は<女性/60歳代>が50.0%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が49.0%と続いている。「言葉も意味も知っている」は<男性/30歳代>が55.2%で最も高く、「まったく知らない」は<女性/20歳代>が50.0%で最も高かった。(図IV-5-2)

職業別でみると、「聞いたことはあるが、意味は知らない」は<専門職>、<学生>がそれぞれ50.0%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が44.4%と続いている。「言葉も意味も知っている」は<専門職>、<管理職>がそれぞれ50.0%で最も高く、「まったく知らない」は<販売・生産・労務職>が41.2%で最も高かった。(図IV-5-2)

居住地域別でみると、「聞いたことはあるが、意味は知らない」は<西部地域>が50.0%で最も高く、次いで<本庁(都心)>が48.3%と続いている。「言葉も意味も知っている」は<南部地域>が40.4%で最も高く、「まったく知らない」は<上河内・河内地域>が50.0%で最も高かった。(図IV-5-2)

<図IV-5-2>性別・年齢別/職業別/居住地域別

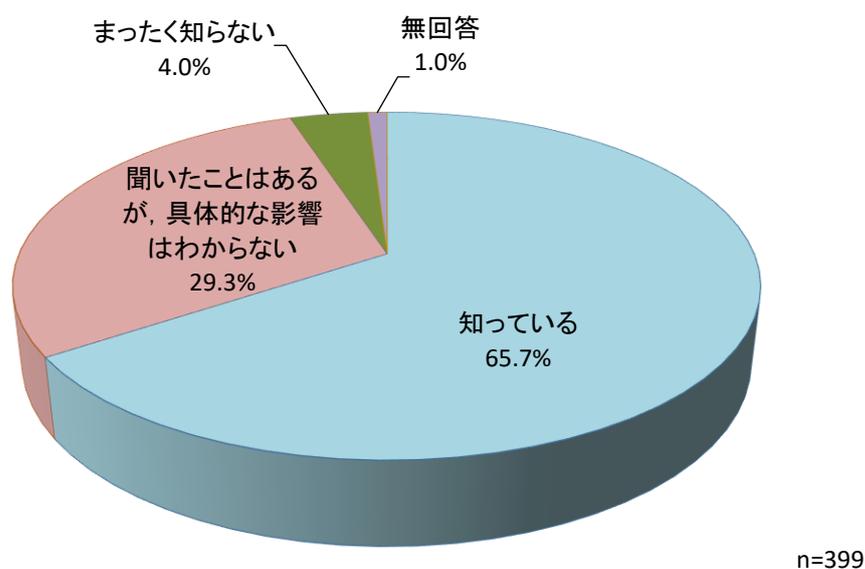


(2) 外来種が及ぼす影響に関する認知度

◇ 「知っている」が6割半ば

問 1 4	外来種が及ぼす影響を知っていますか。	(○は1つ)
		n=399
1	知っている	65.7%
2	聞いたことはあるが、具体的な影響はわからない	29.3%
3	まったく知らない	4.0%
	(無回答)	1.0%

<図IV-5-3>全体



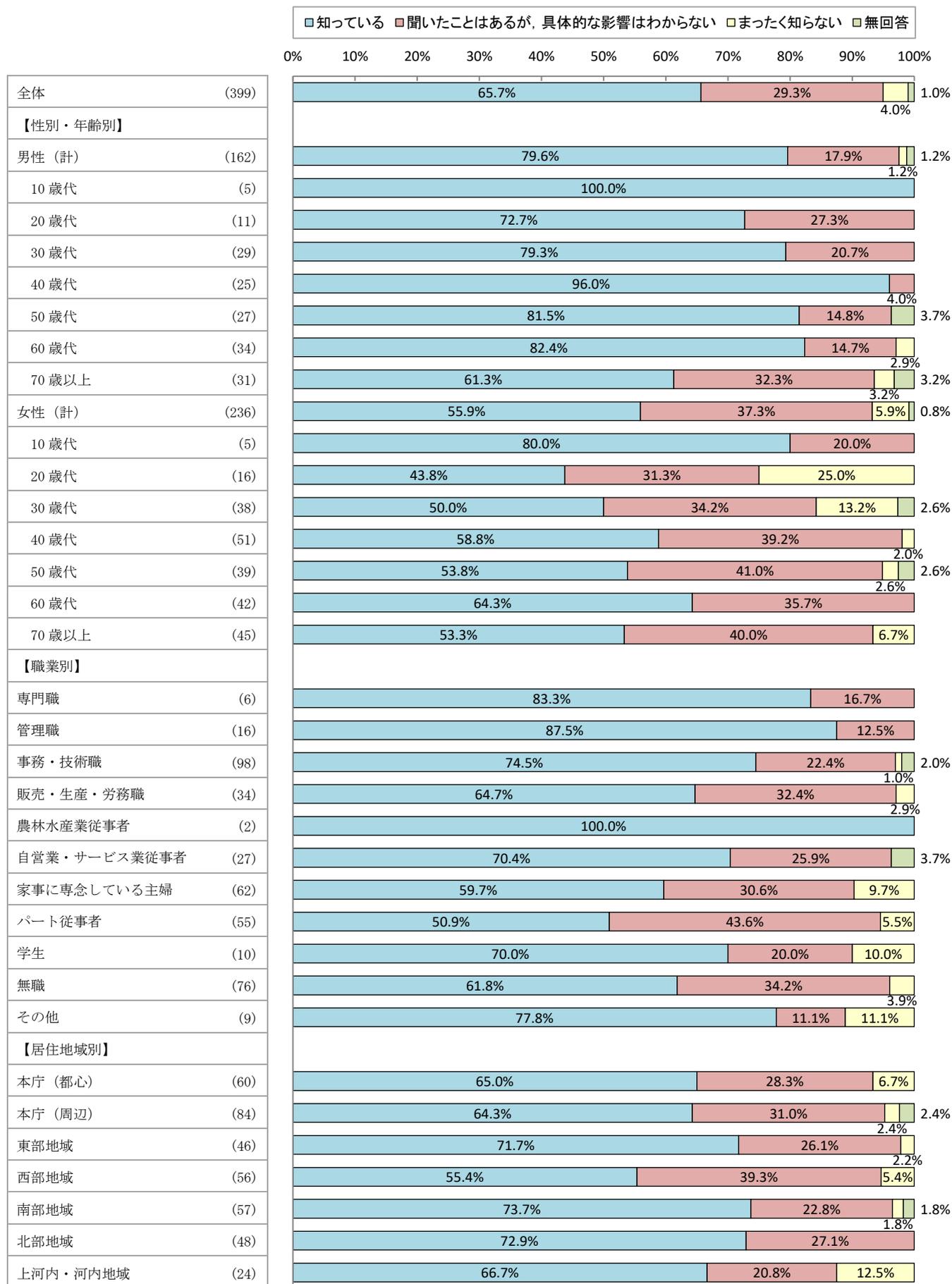
外来種が及ぼす影響に関する認知度については、「知っている」が65.7%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、具体的な影響はわからない」が29.3%であった。(図IV-5-3)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<男性/40歳代>が96.0%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が82.4%と続いている。「聞いたことはあるが、具体的な影響はわからない」は<女性/50歳代>が41.0%で最も高かった。(図IV-5-4)

職業別でみると、「知っている」は<管理職>が87.5%で最も高く、次いで<専門職>が83.3%と続いている。「聞いたことはあるが、具体的な影響はわからない」は<パート従事者>が43.6%で最も高かった。(図IV-5-4)

居住地域別でみると、「知っている」は<南部地域>が73.7%で最も高く、次いで<北部地域>が72.9%と続いている。「聞いたことはあるが、具体的な影響はわからない」は<西部地域>が39.3%で最も高かった。(図IV-5-4)

<図IV-5-4>性別・年齢別/職業別/居住地域別

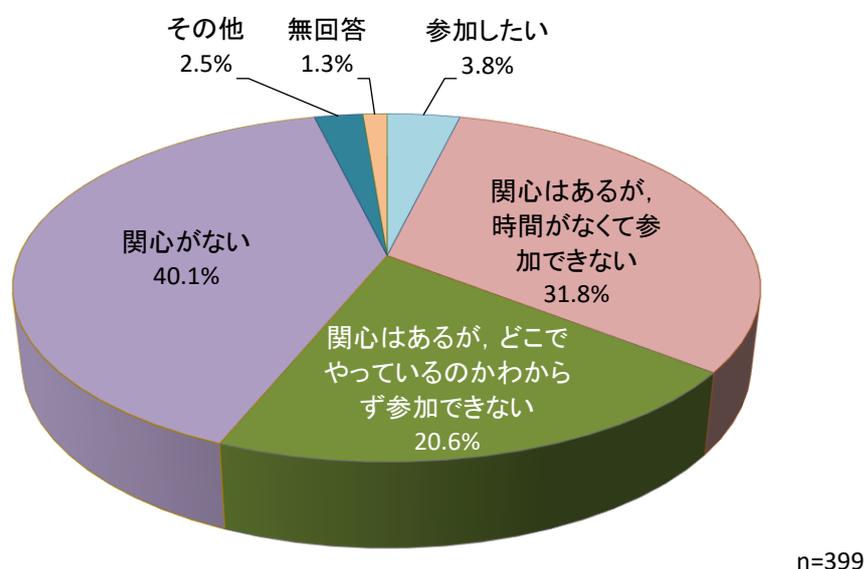


(3) 生物多様性保全に係る活動への参加意向

◇ 「関心がない」が約4割

問 1 5	生物多様性保全に係る活動（動植物やその生息・生育環境を保全する活動）に参加したいと思いますか。	(○は1つ)
		n=399
1	参加したい	3.8%
2	関心はあるが、時間がなくて参加できない	31.8%
3	関心はあるが、どこでやっているのかわからず参加できない	20.6%
4	関心がない	40.1%
5	その他	2.5%
	(無回答)	1.3%

<図IV-5-5>全体



生物多様性保全に係る活動への参加意向については、「関心がない」が40.1%で最も高く、次いで「関心はあるが、時間がなくて参加できない」が31.8%、「関心はあるが、どこでやっているのかわからず参加できない」が20.6%と続いている。(図IV-5-5)

性別・年齢別で見ると、「関心がない」は<女性/20歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/70歳以上>が57.8%と続いている。「関心はあるが、時間がなくて参加できない」は<女性/50歳代>が46.2%で最も高く、「関心はあるが、どこでやっているのかわからず参加できない」は<男性/40歳代>が40.0%で最も高かった。(図IV-5-6)

職業別で見ると、「関心がない」は<学生>が50.0%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦>が46.8%と続いている。「関心はあるが、時間がなくて参加できない」は<専門職>が66.7%で最も高く、「関心はあるが、どこでやっているのかわからず参加できない」は<無職>が27.6%で最も高かった。(図IV-5-6)

居住地域別で見ると、「関心がない」は<東部地域>、<上河内・河内地域>がそれぞれ50.0%で最も高く、次いで<西部地域>が44.6%と続いている。「関心はあるが、時間がなくて参加できない」は<上河内・河内地域>が41.7%で最も高く、「関心はあるが、どこでやっているのかわからず参加できない」は<北部地域>が31.3%で最も高かった。(図IV-5-6)

<図IV-5-6>性別・年齢別/職業別/居住地域別

